

2024(令和6)年は西区制80周年

知ってる?

西区のむかし

西区文化協会は1981(昭和56)年の創立。創作・芸能・茶道部門に分かれて活動しており、誰でも加入できます。「にしぶんか」は創立から5年後に発刊されました。西区に密着した文化と歴史、地域に随された趣あるエピソードを交えて、温故知新を語り継ぐ広報誌です。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡ししています。



2024(令和6)年に西区は80周年を迎えます。これを記念して、西区文化協会が発行している広報誌「にしぶんか」から、これまでの西区の歴史をひも解いていきます。ぜひ西区のむかしに思いをはせてみてください。

第2回 新橋・横浜間の鉄道開通 …………… にしぶんか No.35 から

江戸から明治の世になると、国の近代化のために多くの人や物資を一度に運べる鉄道の敷設が大切だと考える人々が現れました。明治政府の大隈重信や伊藤博文たちでした。一方で、鉄道よりも軍備優先だと考えるグループがありましたが、明治天皇を後ろ盾にして鉄道建設計画は着々と進められました。今から150年ほど前の1872(明治5)年、新橋と横浜を結ぶ全長27kmの日本最初の鉄道が完成しました。その「初代横浜駅」は開港場に近い、今のJR桜木町駅の場所に造られました。その後、京都・大阪方面に鉄道を伸ばすために便利な、東京寄りの高島町に「二代目横浜駅」が。さらに現在の横浜駅は「三代目横浜駅」の場所に建て替えられています。新橋・横浜間に敷かれた鉄道がその後の鉄道の発展と、日本の近代化の礎いしづえとなりました。



初代横浜駅(横浜開港資料館所蔵)

問 西区文化協会事務局(地域振興課内) Tel.320-8392 fax 322-5063